

東北地方 1 か月予報

(9 月 1 4 日から 1 0 月 1 3 日までの天候見通し)

平成 1 4 年 9 月 1 3 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

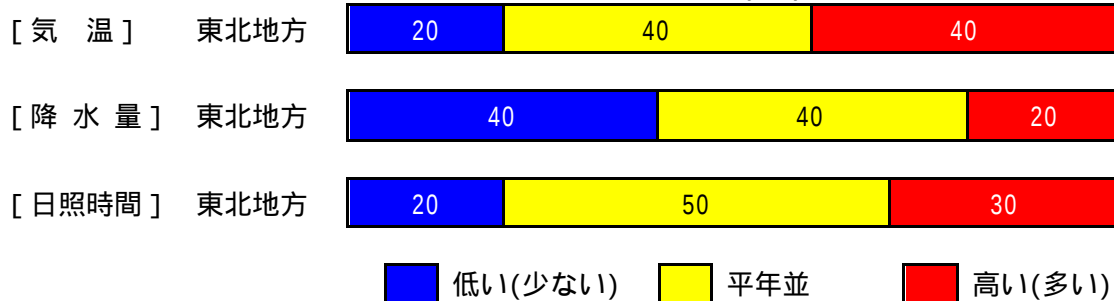
向こう 1 か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

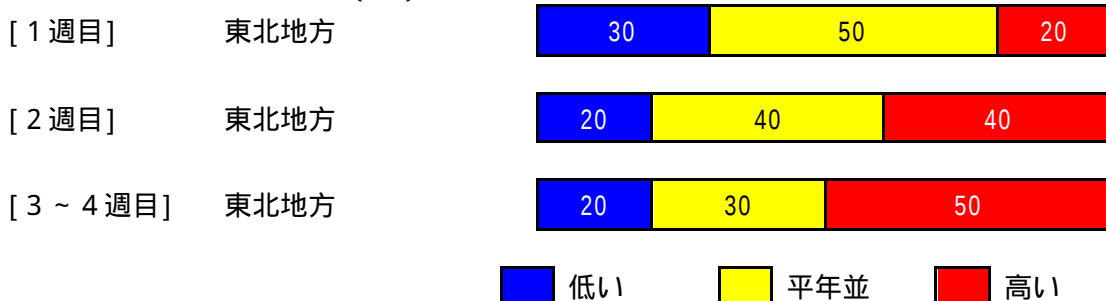
向こう 1 か月の気温は平年並か高い、降水量は平年並か少ない、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目は平年並、2 週目は平年並か高い、3 ~ 4 週目は高い見込みです。

< 向こう 1 か月の気温，降水量，日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 9 月 1 4 日 (土) ~ 1 0 月 1 3 日 (日)

1 週目 : 9 月 1 4 日 (土) ~ 9 月 2 0 日 (金)

2 週目 : 9 月 2 1 日 (土) ~ 9 月 2 7 日 (金)

3 ~ 4 週目 : 9 月 2 8 日 (土) ~ 1 0 月 1 1 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 9 月 2 0 日

3 か月予報 : 9 月 2 4 日 (火) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温，降水量，日照時間と 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温 ()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	17.0	188.9	129.7	19.0	17.8	15.9
新庄	16.2	141.2	108.5	18.8	17.2	14.9
若松	17.1	109.3	115.6	19.6	18.1	15.8
深浦	16.7	158.0	150.2	18.8	17.6	15.5
青森	16.2	102.5	160.2	18.6	17.3	15.0
むつ	15.6	145.9	155.6	17.7	16.6	14.5
八戸	16.2	120.5	152.4	18.4	17.2	15.0
秋田	17.2	152.6	153.9	19.6	18.2	16.0
盛岡	15.5	117.6	136.5	18.0	16.6	14.2
宮古	16.3	190.5	135.6	18.3	17.2	15.2
酒田	18.0	165.6	146.3	20.2	18.9	16.9
山形	16.9	106.1	123.9	19.4	17.9	15.6
仙台	18.0	177.6	128.9	20.0	18.9	17.0
石巻	17.5	144.5	139.3	19.6	18.4	16.4
福島	18.2	147.6	118.5	20.3	19.1	17.1
白河	16.5	173.0	115.0	18.7	17.4	15.4
小名浜	19.1	197.6	131.3	21.0	19.8	18.1

なお、気温，降水量，日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温，降水量，日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差 ()	降水量平年比 (%)	日照時間平年比 (%)
東北地方	-0.4 ～ +0.2	82 ～ 110	92 ～ 108
東北日本海側	-0.5 ～ +0.3	85 ～ 114	93 ～ 107
東北太平洋側	-0.4 ～ +0.1	82 ～ 110	92 ～ 110

（３）この予報期間の 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6 ～ +0.4	-0.5 ～ +0.4	-0.6 ～ +0.4
東北日本海側	-0.7 ～ +0.4	-0.6 ～ +0.4	-0.6 ～ +0.4
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.4	-0.5 ～ +0.4	-0.5 ～ +0.4

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率 60 % の予報 10 例では、そのうちの 6 回で予報した階級が実際に起こり、4 回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに 33 %）から大きく隔たった確率（10 % や 60 %、70 % など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 14 年 9 月 13 日 仙台管区气象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(9 月 14 日～10 月 13 日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1 週目(9 月 14 日～9 月 20 日)：

期間の中頃、気圧の谷の通過により雨となる所が多いでしょう。その他の日は高気圧に覆われおおむね晴れる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目(9 月 21 日～9 月 27 日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3～4 週目(9 月 28 日～10 月 11 日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は高いでしょう。

平年の晴れ日数

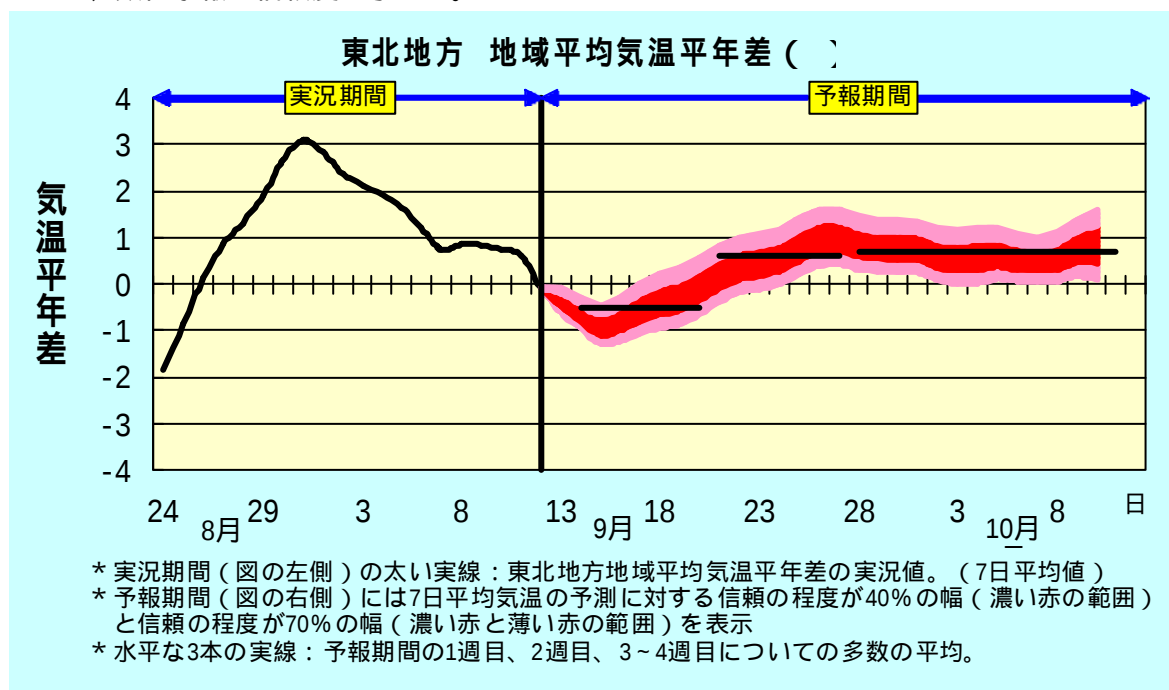
	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	13.7 日	3.3 日	3.3 日	7.1 日
東北太平洋側	13.6 日	2.9 日	3.4 日	7.3 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

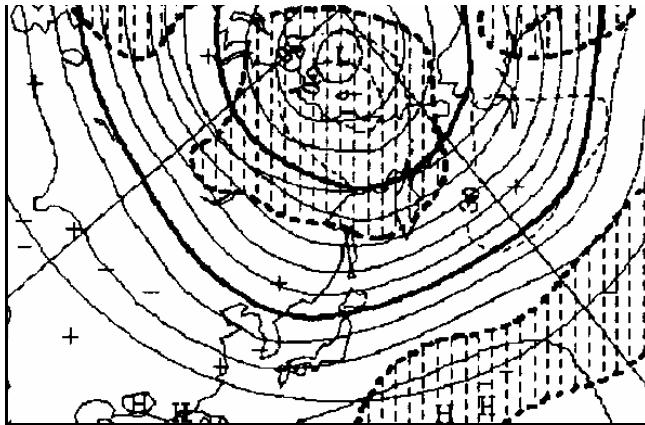
数値予報による週別の気温は、1 週目は「平年並」、2 週目と 3～4 週目は「高い」を予測している。

予報は、その他の資料から 2 週目を「平年並か高い」に変更するほかは、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

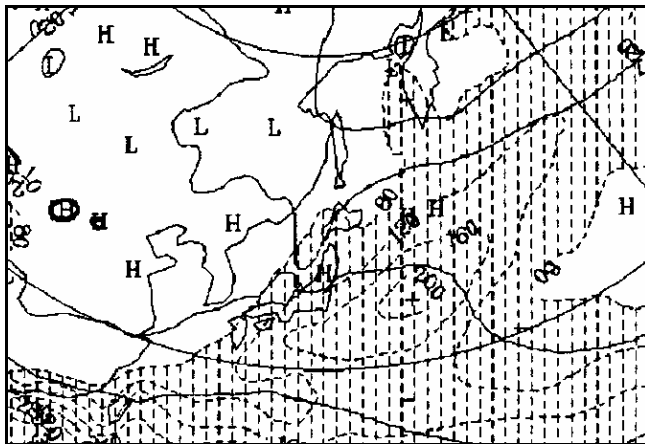


月平均の 500hPa 高度・偏差
等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本の西が弱い気圧の谷となる。高緯度と日本の南東海上には負偏差が広がるが、日本付近は正偏差に覆われる。

週別（図略）では、1 週目はオホーツク海が気圧の尾根で正偏差、日本付近が気圧の谷で負偏差となるが、2 週目以降は、月平均と同様の分布となり、日本付近は正偏差に覆われる。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上

地上気圧と降水量

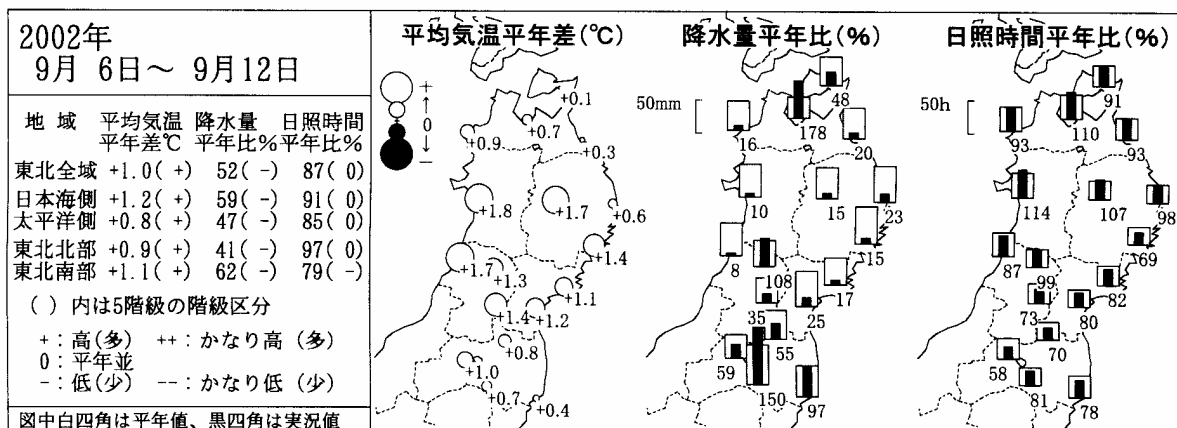
月平均で見ると、日本付近は東西に広がる高圧帯になっている。一方、オホーツク海や日本の南東海上は低圧部となっている。秋雨前線に対応する降水域は、日本の南東海上に予想されており、東北地方には弱い降水域がかかっている。

週別（図略）では、1 週目は月平均に比べ高圧帯がやや北側に位置し、本州南岸に秋雨前線に対応するまとまった降水域が見られる。3～4 週目にかけて、高圧帯が本州付近に南下し、東北地方は前線の影響を受けにくくなる予想。

4. 最近 1 週間（9 月 6 日～9 月 12 日）の天候の経過

この期間、6日から8日にかけては停滞前線や低気圧の影響で曇りや雨となった。その後は、高気圧に覆われ概ね晴れて気温が高くなり、11日は福島で真夏日となったが、12日は東北地方をゆっくり南下した停滞前線の影響で再び曇りや雨となった。

平均気温は、東北地方で平年差+1.0 と高かった。降水量は、東北地方で平年比52%と少なかった。日照時間は、東北北部で平年比97%と平年並、東北南部で平年比79%と少なかった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）